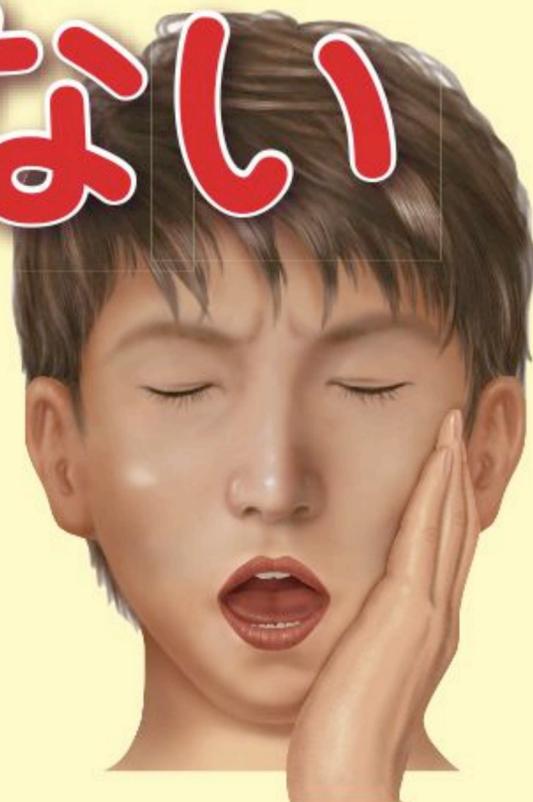




顎関節症は こわくない



著：木野孔司（東京医科歯科大学歯学部顎関節治療部）

杉崎正志（東京慈恵会医科大学歯科学教室）

和気裕之（みどり小児歯科）

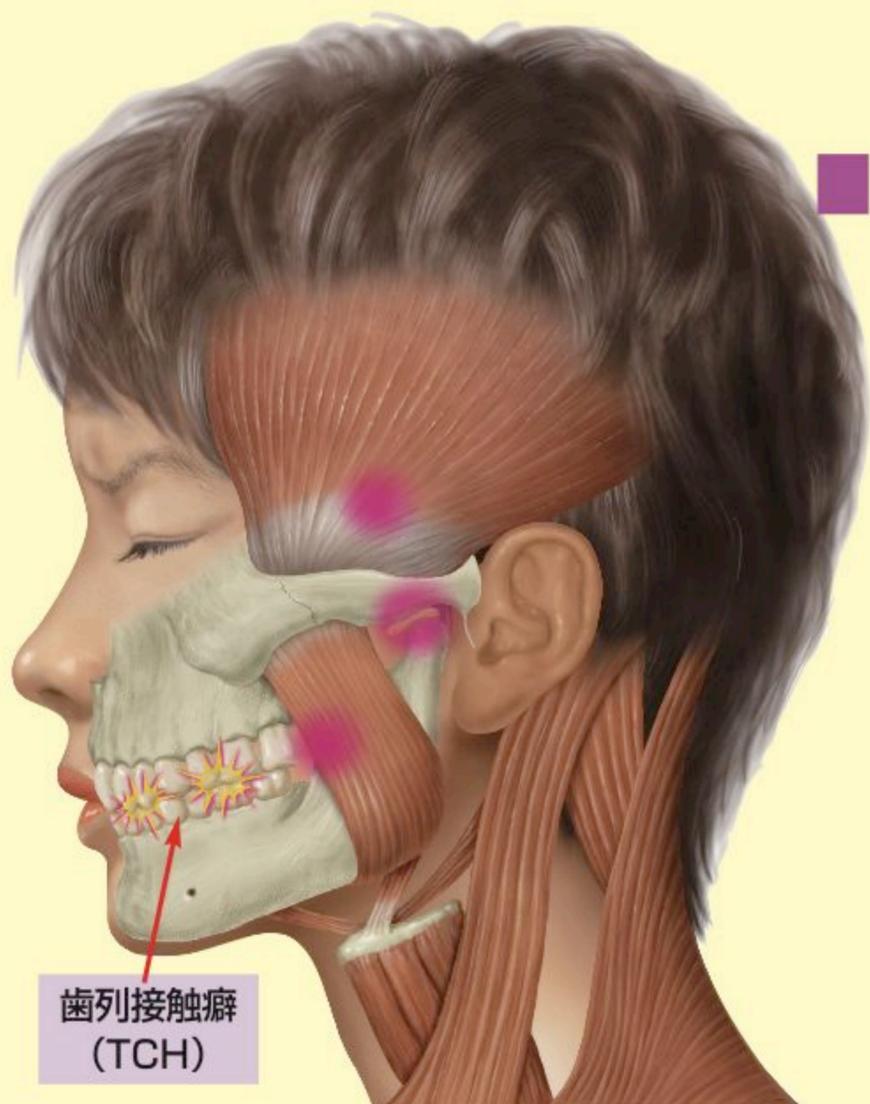
A4判 50ページ 上製本 ISBN978-4-901894-91-3

定価6,090円（本体5,800円+税）

■「歯を接触させる癖（TCH）」が、 顎関節症発症の重要な要因！！

顎関節症の発症にはいくつかの要因が関わっていて、それらの要因は日常生活習慣にひそんでいることをお話しました。個々の患者さんによって、どんな要因をもっているか異なりますが、最近の調査から、ある1つの要因の重要性が明らかになってきました。それは歯列接触癖（TCH；Tooth Contacting Habit）という癖で、顎関節症の痛みで来院された患者さんの70%がこの癖をもっており、この癖を治すことで短期間で症状が改善されることもわかってきました…

ではTCHはどうすれば治せるでしょうか。TCHの是正には、臨床心理学の分野で発達してきた行動療法の中の習癖逆転法をアレンジした方法をおこないます…（本文より）



歯列接触癖
(TCH)

■パソコン業務の普及で、 TCH、顎関節症が増えている！？

最近、来院する患者さんの中に為替のトレーダーやコンピュータゲームデザイナーといった長時間パソコン業務をされる方がしばしばいらっしゃいます。この長時間のパソコン業務が、顎関節症患者の増加に関連しているのではないかと考えられます。勤務終了時には、顎関節症の悪化のみならず、頭部から両肩が疲れきっていると訴えます。これはキーボード作業に伴うTCHの長時間化が要因と思われる…（本文より）



お待たせしました！
『顎関節症はこわくない』
がリニューアル！
TCH等の最新知見を加えて
大幅改訂・増ページ！

